

平成22年度 氷川町公民館大会

3月6日、氷川町文化センターで平成22年度氷川町公民館大会が開催され、公民館講座の発表や講演が行われました。

1年間の講座の様子などについて、「パソコン講座」の報告を下田孔也講師が、「草木染講座」の報告を新垣有美子さんが発表されました。

次に、町内の小中学校で実施している学校支援地域本部事業について濱田尚方さん（地域コーディネーター）から地域ボランティアの方々にご協力頂いた授業の様子などの報告があり、また、子ども会桜っ子クラブが行った、耕作放棄地を活用した大豆づくりの様子を、子ども会育成連絡協議会島田会長が報告されました。

講座等の報告の後、「水俣の元気な村づくり」と題して、^{かぐめいし}頭石まるごと生活博物館代表 勝目豊氏と水俣市^{かぐめいし}農林水産課 赤石護氏から水俣市頭石地区でのまるごと生活博物館の取り組みについて講演して頂きました。



▲「草木染講座」を発表される新垣さん



▲講演される勝田さん(左)と赤石さん(右)

第37回 八火図書館本まつり

2月19日、氷川町公民館で第37回八火図書館本まつりが開催され、約200名が参加しました。

まず、東 夏琳さん（竜北西部小2年）「ふしぎなたいこ」、関本 智子さん（竜北東小3年）「だいくとおに六」、小川 舞さん（宮原小4年）「良寛さん」の童話発表があり、次に、町内5校、264点の応募があった読書感想文・感想画の中から優秀者に表彰がありました。代表して清田 祐一郎さん（宮原小3年）「いのちをいただくを読んで」、村川 英尊さん（竜北中2年）「アンネの日記を読んで」の感想文発表がありました。

アトラクションでは、劇団ぱれっとによる、「したきりすずめ」が上演され、子どもも大人もとても楽しそうでした。

本まつりは、八火図書館を寄贈された光永星郎氏の命日にちなんで開催されています。



▲たくさんの方が『本』に触れました

学校給食にいちごを贈呈

3月7日、八代地域農業協同組合和鹿島いちご部 永田敬介部長から学校給食に採れたてのいちご2,500個が送られました。これらの食材は、当日の町内各小中学校の給食のデザートとしてメニューに加えられ、子ども達は、赤く色づいた採れたてのイチゴの甘い香りと味を楽しみながら給食をおいしそうに食べていました。竜北西部小学校1年の稲田雛ちゃんは「家でもいちごを作っていて、お手伝いもします。色がきれいで、とっても美味しい、大好きです。」と笑顔で話してくれました。

なお、贈呈は、毎年行われています。和鹿島いちご部の皆さん今年もありがとうございました。



▲いちごを贈る永田敬介部長(右)



▲みんなおいしそうに食べてます



▲がぶっ！！

地域特産物マイスターに廣田 和博さん(北鹿野)を認定

この制度は、地域特産物の栽培、加工等の分野で多年の経験と卓越した技術能力を有し、産地育成の指導者となる人材を認定・登録するもので、地域特産物マイスターが技術の伝承と開発、相互交流等を進めることにより、地域特産物やその産地の育成に役立てようと平成12年度から始まった制度です。

平成22年度は、い草・畳表分野の廣田和博さん(北鹿野)をはじめ、全国から20名の方が地域特産物マイスターとして認定されました。

認定証授与は、2月16日に東京都港区三会堂ビル石垣記念ホールで開催された「第10回地域特産物マイスターの集い」において交付されました。



▲認定書を受け取る廣田さん(右)

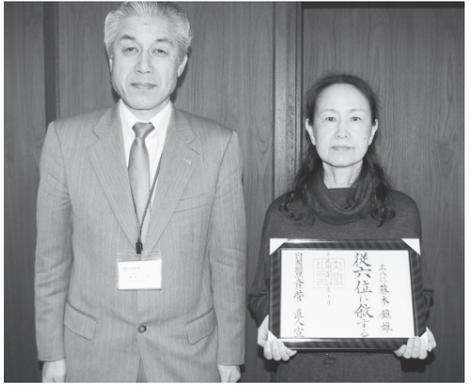
元宮原町議員 故 藤本 鎮雄さんに従六位

平成23年1月10日に満88歳で亡くなられた元宮原町議員の藤本鎮雄さんへの特旨叙位(従六位)伝達式が3月8日、氷川町役場にて行われ、藤本町長より娘の穂月和子さんへ位記が手渡されました。

藤本さんは、昭和35年から6期24年の永きにわたり在職し、特に昭和51年から8年間は議会副議長を、また、昭和43年から12年間は監査委員を務め、町の発展に多大な貢献をされました。

平成5年には、その功績が認められ、春の叙勲において勲五等瑞宝章を受章、さらに今回の受章となりました。

位記を受け取った穂月さんは「この度は、思いがけずこのような章を受けまして、改めて父の残した偉大さを感じております。父に代わりまして厚く御礼申し上げます。」と述べられました。



▲位記を手にする穂月和子さん(右)